

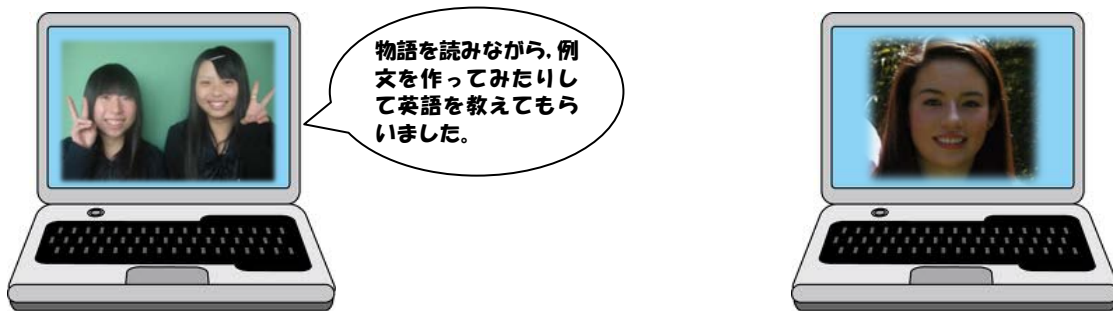
国を超えた「きづな」 ～海外交流支援を開始～

2011年10月3日より、宮城県気仙沼高等学校の在校生4名と米国Yale大学(コネティカット州ニューヘイブン、ハーバード大学と並ぶ5名の大統領を輩出したアイビーリーグ校)の学生との間でビデオ通話による交流を開始しました。

7月に気仙沼高等学校を訪れたYale大学3年生のアリサさん(母親は日本人で当団体理事)は、あまりに悲惨な被害を目の当たりにして、被災地の生徒の皆さんを少しでも勇気づけたいとの強い思いで校友に声をかけて、この交流が始まりました。

毎週お互いの顔を見ながら、近況や習慣を英語で話すことにより、ハロウィーンや感謝祭など米国独自の習慣や日本の習慣との違いを知り、また英語が少しずつでも理解できるようになる喜びを実感しています。海外は遠い世界ではなく、身近になってきた感があります。

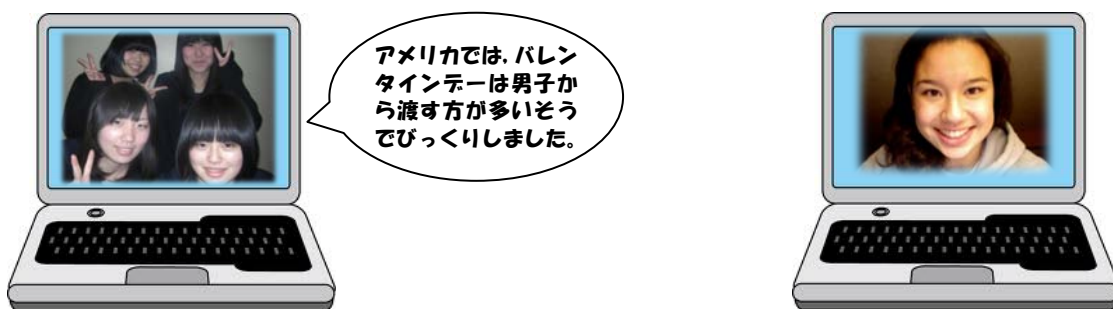
Hope for Tomorrow では、ビデオ通話が可能なパソコン1台や教材となる本や資料を提供し、円滑な交流ができるようサポートしています。今後、このような「きづな」が徐々に広がっていく機会をさらに提供していきたいと思っています。



海外交流を行っている気仙沼高校の生徒。
朝早く登校して授業前にビデオ通話をします。



Yale大学のボランティアのアリサさんと
パトリシアさんはアイスホッケー選手です。



【Yale 大学の様子】



Branford College Courtyard



Sterling Memorial Library



Yale 大学キャンパス